

ROTARY INTERNATIONAL GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

OFFICE OF GOVERNOR OF DISTRICT NO. 63

YOSHIJIRO ISHIKAWA

KEIFUKU ELECTRIC RAILROAD CO.
ABURANOKOJI ONMAEDORI SHIMOKYO-KU
KYOTO JAPAN



No. 12 (追報)

昭和31年6月30日 (June 30, 1956)

各地ロータリークラブ

会長並びに幹事殿

国際ロータリー
第63区ガバナー 石川芳次郎

○ 1955～1956年度の終りに当つて (At the Close of the Year)

本号が私の書信の最終であります。各クラブの正副会長、幹事、その他の役員、委員長及び会員各位の御温情、御後援、御協力により、R.I. 会長 Baker 氏の本年度のスロ・ガン「われらの資源を開発しよう」(Develop Our Resources) によつてロ・ブリ-後半世紀の第1年に大飛躍をしました。第63区においては別表の如く、クラブ数においても会員数においても増加を見ました。なお数においてのみならず質においても前進したことを信じます。

ロ・ブリ-は常に前進して社会をよりよく、世界を理想郷に向けて推し進めて行く組織であります。決して後退をいたしません。1955～1956年度は過去のどの年よりも、より勝れた年であると信じます。来年度は更によりよき年となるであろうと思ひます。ロ・ブリ-は常に上昇カーブを作つております。

日本のロ・ブリ-は世界水準より上だと云われております。

数においては国内の他地区と較べると当地区は余りよいとはいへませんが、世界水準より高いと思ひます。

地区	クラブ数	会員数 (期初との増減)
60区	56 (+9)	2,378 (+296)
62区	43 (+9)	1,626 (+319)
63区	47 (+5)	1,957 (+229)
64区	34 (+1)	1,345 (+92)

(1956年5月末現在)

○ ガバナーの任務に感謝 (Thanks for the Faculty as the Governor)

先輩並に本年度のチ-ムであられる皆様のお蔭をもちまして大過なく任務満了でお役御免になつて、私の心境はやれやれというところであります。これからは1ロ・ブリ-アンとしてロ・ブリ-の為に、驍尾に附して働かせて頂きたいと思ひます。

ロ・ブリ-は生きております。「日に新にして新大なり」であります。私も1生徒となつて勉強してついて行きたいものと念じております。何分老兵ですから宜敷く願ひいたします。

ガバナーにして頂いたお蔭で最近のアメリカも見せていただき、私のもつていた疑問も払つてくれました。その一つに米国は物質面のみでなく精神面においても逞しい進展を見せているというこ

とです。開拓当時の力強い精神面を伸ばそうと努力し、且つ実行していることで、O-SJ-にもそれが現われていると思いました。

またO-SJ-は当り前のことを当り前にやることで、ル-ルを守るということも、実は当り前のことを能率的に、流れ作業的に簡潔にやる為にはかならないということをよく知るされました。ガバナ-となつたお蔭で短期間に多くの有力なる多数の方々に親しくなる機会を恵まれました。今更ながらO-SJ-の功德を身にしてみても感謝しております。何時であつたか雑誌O-SJ-アンにガバナ-はよい投資だというような記事があつたと思いますが、全くその通りであります。天はサ-ビスをすると利子をつけて返してくれるとも受けとれます。“He Profits Most Who Serves Best”は矢張り真理です。

○ 会長、幹事の任務と各部門の解説 (小冊子) (Record of the District Assembly)

小菅前ガバナ-に倣つて去る4月の地区協議会における解説を記録したもので63区全会員各位に配布いたします。

O-SJ-の最近の仕法、運営の概念、心構え等のよい手引となると思います。会長、幹事さんは是非一度目をおしておかれる方がよいと思います。なお余分に印刷しましたから御入用の向は小生宛御申越になればお送り申し上げます。

○ R.I. 本部事務局に感謝 (Thanks to the Secretariat of R.I.)

R.I. 本部は実に行き届いてよいサ-ビスをされています。O-SJ-組織の素晴らしいのは事務局の形にも心にも行き届いたサ-ビスの賜だと思います。中には余り印刷物が多く来るのでたまらないあと、歎息を洩らす人もあるということです。しかしこのようにこれでもかこれでもかと世話をしてくれるので、進歩があるのだと私は堅く信じております。

O-SJ-は文献が先生です。ガバナ-になつて始めて本部の有難味が分りました。その至れり尽せりのお世話振りは若殿様に対する乳母のようです。少しもたかぶらず、なんと無理をいわれても最善のサ-ビスをするところ正に先代萩の政岡です。

筆舌に尽せぬ恩人です。ガバナ-の任期終了に当り心の底から感謝を捧げます。

○ 小菅前ガバナ-にもう一度感謝 (Thanks Again to Mr. Kosuge)

小菅前ガバナ-のされることを杖として、私という明盲が歩いてまいりました。一度の感謝では足りないからもう一度この書信を濫用させていただきます。小菅さんはアメリカ式に手紙の返事が頗る早い。まるでピンポンの球のようにすぐ打ち返してきます。誠に敬服にたえません。大いに教えられました。幹事さん方は是非見習われるとよいと思います。ここに再び記して御礼を申し上げます。

○ R.I. 会長ベーカー氏及び事務総長ミーンズ氏の書翰要旨 (Letters from “A.Z.” & George)

ベ-カ-会長の手紙の要訳。

「貴方と共に本年度のO-SJ-資源の開発の為に精魂を尽して今感慨無量であります。貴方もそうであります。」

O-SJ-世界の国の数においても、クラブの数においても、会員数においても又更に重要なことは、O-SJ-精神においても過去の如何なる年より勝る新記録を作ることが出来ました。吾々の子-ムの子ヤブテンとして、使命達成のためによくやつて頂いた御礼を申し上げます云々。」

ミ-ンズ事務総長からも年度の終りの手紙をよせて来ました。1955～1956年の成績について賞揚され、感謝されました。要するに第63区各位が賞揚されたのであります。

○ 地区番号整備 (Renumbering of Districts)

1957年7月1日より地区番号が変更になることはかねて書いてありますが、日本の新番号は下記の通りであります。

新番号	現番号
355区	60区
360区	62区
365区	63区
370区	64区

なおオシバ-リーグの大別は下記の通りです。

100～199	European, North African and Eastern Mediterranean region
200～299	Australia, New Zealand, South